

令和2年7月5日から7月8日にかけての 梅雨前線による大雨について

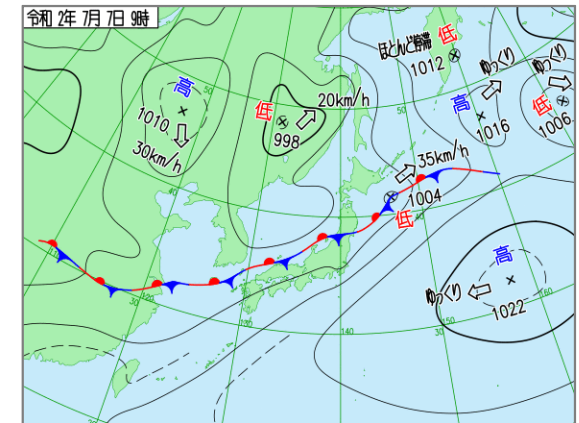
概要

5日から8日にかけて梅雨前線が西日本に停滞し、南から湿った空気が流れ込んだため、前線の活動が活発となり、愛媛県では広範囲で大雨となりました。

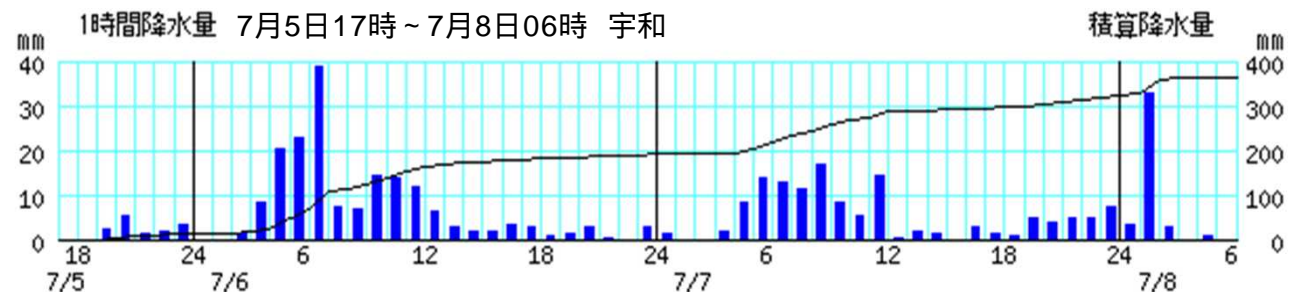
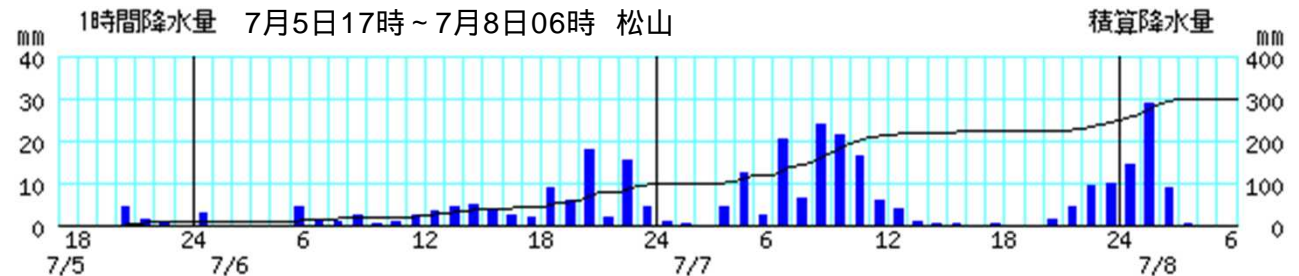
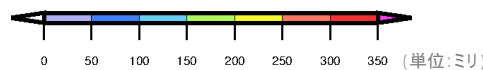
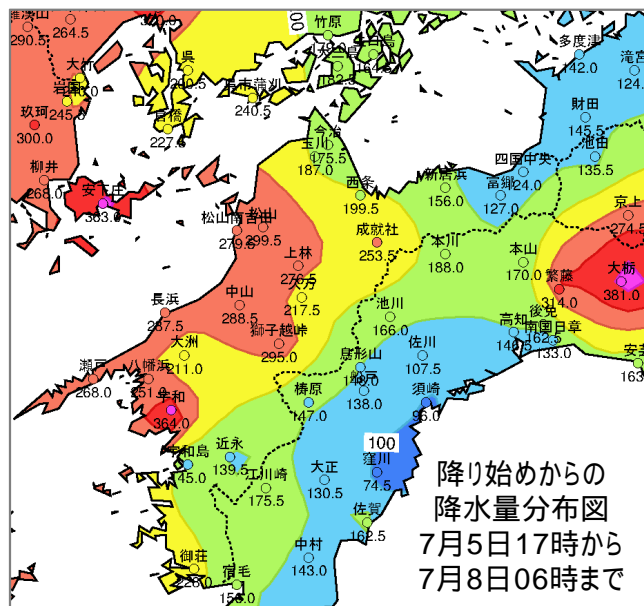
この大雨により、松山市、伊予市、八幡浜市、内子町で土砂災害が複数発生し、松山市では住家に土砂が流れ込む被害がありました。伊予市では高速道路に土砂が流れ込んだため一時通行止めとなりました。今治市では床上浸水1棟及び床下浸水1棟、松前町では床下浸水4棟の住家被害があったほか、大洲市では内水氾濫によるとみられる道路冠水がありました。

【被害状況：愛媛県災害警戒本部(8日09時現在)、愛媛新聞(8日)、NHK愛媛NEWS WEB(8日)による】

地上天気図(7月7日9時)



雨の状況 (アメダス速報値)



棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す。横軸は時刻を示す

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。後日内容の一部訂正や追加をすることがあります